

学習の森 中ノ沢溪谷森林公園 報告 ver 76

R5-rittou makkou kinsenka saku ver76 R05.11.16

「立冬 末候 金盞香(きんせんかさく)水仙の花が咲く」

七十二候11月18(土)では、水仙の花咲くとあります。16日(木)この日しか晴れが無いとう予報で、夜中に決断して森林公園を伺うこととしました。

この日の予定は、よくばりコースから大杉橋へ向かう途中に小展望台があるのですが、その登り口右側の高木コシアブラ樹(中空洞)が倒木となって、冬を前に観察通行の邪魔となっているのを取り除き、また前後小径の草刈をしながら樹木紅黄葉写真を撮りたいと訪れたものです。倒木の処理は、お山の森の木の学校の明石代表にお願いしたのですが、実際に現地へ向かうと倒木は玉切り取り除き処理が済んでいました。後で確認したところグリーンハウス神田管理人によって処理されていたことがわかりました。

小径前後の草刈後に紅黄葉樹木が魅せる姿を撮りたいと、歩き回りました。

1 小径にサルトリイバラの赤い実が彼方此方に生っていました。

よくばりコースから大杉橋へちょっと向かったところです！



m DSC_4007 サルトリイバラの実 R05.11.16AM0805 S.jpg

2 倒木処理されたコシアブラ樹

処理前のコシアブラ



m DSC_4533 倒木コシアブラ R05.10.07AM0920 N.jpg

倒木処理されたコシアブラ



m DSC_4011 コシアブラ処理 R05.11.16AM0809 S.jpg

3 森林科学館前のコナラ林の褐黄葉

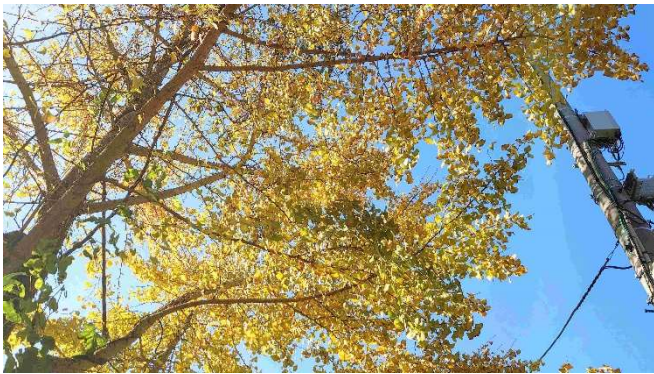
森林科学館前のコナラ林の中に彩鮮やかなカエデ紅黄葉が隠れています！



m DSC_4017 森林科学館前のコナラ林 R05.11.16AM0833 S.jpg

4 イチョウの実もすっかり地面に実を落としていました

よく見るともう実は何もありません！



m DSC_4019 イチョウの実 R05.11.16AM0836 S.jpg

銀杏の実 わかりますでしょうか？



m DSC_4018 秋イチョウの実 R05.11.16AM0836 S.jpg

5 ここからカエデ系の樹木、6 連発をお見せしますね！

ー1 イロハモミジ全形 樹名板



m DSC_4022 イロハモミジ R05.11.16AM0909 S.jpg

m DSC_4720 樹名板 R05.11.16AM0908 N.jpg

イロハモミジ まだもう少し時間が必要です



m DSC_4719 イロハモミジ R05.11.16AM0908 N.jpg

葉：黒紅葉&緑 葉身長3~7cm 掌状5~9裂 裂片広披針形鋭尖頭 縁重鋸齒 展葉時期美

一2 ウリハダカエデ全形・樹名板



m DSC_4733 ウリハダカエデ全形&冬芽
R05.11.16AM0920 N.jpg

s DSC_0179 樹名板 R04.04.12AM0937

冬芽&上果実・羽



m DSC_4734 ウリハダカエデ冬芽&上果実&羽
R05.11.16AM0920 N.jpg

葉：対生 葉身長 8~15cm 浅 3~5 裂 裂片鋸歯有
花：雌雄異株 総状花序淡黄色花 果序総状下垂
冬芽少赤 大長卵形 先尖 花期 4~5 月

一3 ヤマモミジ



m DSC_3997 真中コナラ 右群ヤマモミジ 右枯コナラ
R05.11.12AM1052 S.jpg

m DSC_4740 ヤマモミジ樹名板 R05.11.16AM0928
N.jpg ※ 筆者が過去に付けた樹名板です

ヤマモミジ紅葉



m DSC_4742 ヤマモミジ紅葉 R05.11.16AM0929 N.jpg

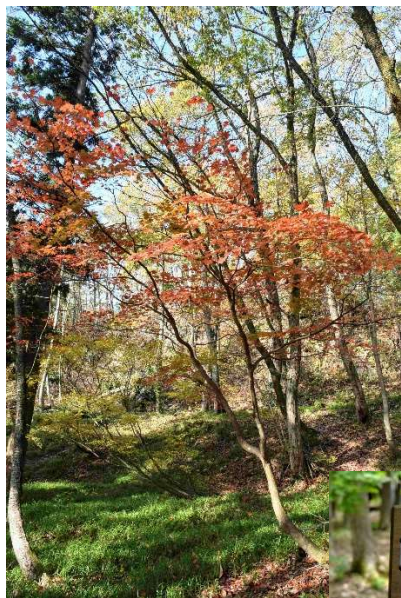
葉を拡大して、形を確認!



m DSC_4744 ヤマモミジ R05.11.16AM0930 N.jpg

葉：荒鋭重鋸歯 葉身径 5~10cm 掌状に 5~9 裂 基
部ハート型 裂片先尾状尖 縁不揃欠刻状重鋸歯 葉柄
長 上面溝有多

一4 ハウチワカエデ



m DSC_4713 全形 R05.11.16AM0857 N.jpg

S DSC_8692 樹名板 R04.05.12AM1119

紅黄葉拡大一1



m DSC_4712 紅黄葉 R05.11.16AM0857 N.jpg

紅黄葉拡大一2 葉の形確認



m DSC_4710 葉の形 R05.11.16AM0856 N.jpg

葉：径7~12cm 掌状9~11裂 裂片卵形尖鋭頭 縁重鋸齒 若葉 初両面共白長毛有後無毛

一5 コハウチワカエデ

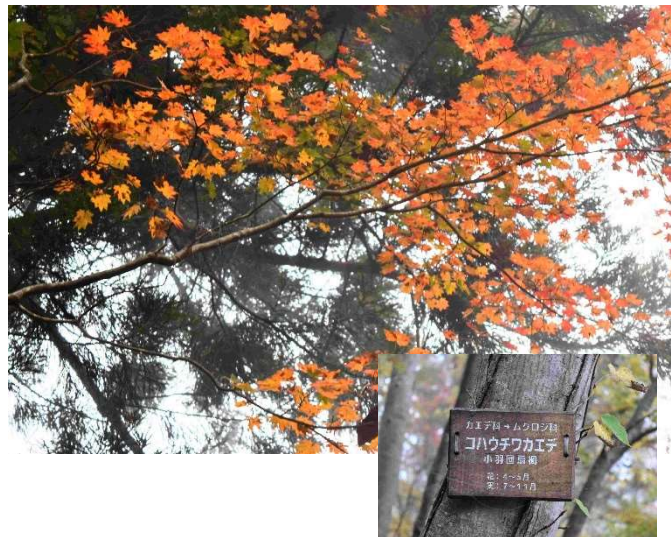


m DSC_4000 菱ヶ岳登山道入口左側の黄葉コハウチワカエデ R05.11.12AM1053 S.jpg

m DSC_4750 樹名板 R05.11.16AM0933 N.jpg

※ 筆者作成の樹名板

樹名板の付いている樹 高木



※ 参考に緑葉



m DSC_4659 コハウチワカエデ 黄葉 R05.11.04AM0702 N.jpg

m DSC_4660 樹名板 R05.11.04AM0702 N.jpg

※ 参考緑葉 s DSC_0671 R02.10.18.AM0706.jpg

—6 イタヤカエデ



少し大きく拡大したのですが



※ 参考に緑葉



m DSC_4759 イタヤカエデ R05.11.16AM0944 N .jpg

m DSC_4760 イタヤカエデ R05.11.16AM0944 N.jpg

s DSC_0431 樹名板設置 イタヤカエデ R04.04.24AM0528

葉： 対生 葉身長 6~14cm 5~7、9 分裂 春展葉期 赤味帯 縁全縁 裂数 裂部浅深 毛有無亜種分

※ 参考緑葉 s DSC_0662 R02.10.18AM0652.jpg

6 これはコハウチワカエデか？

Ver 7 4 でご紹介した、三階滝沢川右岸のタカノツメの黄葉、その間にあまり目立たない樹木についてご紹介しますね！

6-1 見事なタカノツメの黄葉でした！



※ この部分、黄葉の走りのようでした。さてこの樹は何の樹でしょうか？

m DSC_4683 から 4685 三階滝沢右岸堰堤上の樹木 タカノツメ黄葉の panorama 合成 R05.11.04AM1039 N.jpg

6-2 この樹何の樹？

左右に取り囲んでいたタカノツメは落葉しています、今度伺う時に注意して観察してきます。



m DSC_4030 コハウチワカエデと思われ？ 紅黄葉全景 RT05.11.16AM0954 S.jpg

一生懸命に自然を観察している積りでも、眩いような原色に近い黄葉「タカノツメ」の黄色、その陰に静かにひっそりと色づく樹木、同じ黄色なのにどうしてこんなにも違うのか、自然を見る時に、あらためてもっと感性を高めなければと思ったのでした。

今回の撮影について

今回写真は、令和5年11月16（木）の写真を編集しました。

R05.11.19 記録 up